

## 平成28年度第17回人間文化研究機構役員会議事概要

- 日 時 平成28年12月26日（月）14:00～15:33
- 場 所 機構長室
- 出席者 機構長、平川理事、小長谷理事、佐藤理事、榎原理事
- 陪席者 大崎特別顧問、小泉監事、二ノ宮監事
- 事務担当者 事務局長、総務課長、企画課長、財務課長、施設課長

### ○ 議 題

#### 【審議事項】

- (1) 第16回議事概要（案）について  
原案のとおり了承された。
- (2) 早期退職制度の導入について  
事務局から説明があり、規程案については、原案のとおり了承された。  
別紙の募集実施要項（案）については、表記を一部修正することで了承された。  
なお、今年度の募集人数は、過去の勸奨退職の実績を勘案し各1名とするが、来年度以降は今回の応募者数などを考慮し、検討していくこととなった。
- (3) 育児・介護休業法の改正に伴う規程の改正について  
事務局から説明があり、原案のとおり了承された。
- (4) 国際日本文化研究センターと長崎県立大学におけるクロスアポイントメントの実施について  
事務局から説明があり、給与の支給方法や諸手当について質問があった。  
質問のあった事項について、協定書にて明確にしておくべきとの指摘があり、次回の役員会までに修正し、再度審議することとなった。

#### 【報告事項】

- (1) 平成29年度予算（案）について  
平川理事から報告があった。  
なお、機構長から、予算がついたということは成果を求められるということであるので、引き続きよろしくお願ひしたいとの発言があった。
- (2) 平成27年度決算検査報告説明会の報告について  
平川理事から参考となる文部科学省に関する事例を中心に報告があった。  
なお、この報告書は各機関への報告も義務付けられているため、次回機構会議においても報告する旨説明があった。
- (3) 第13回国立大学法人等監事協議会総会の報告について  
小泉監事から報告があった。  
次期会長校の説明とともに、協議会の会長について7つの地区ブロックでローテーションとなるが、これには人間文化研究機構は含まれない旨の補足説明があった。
- (4) 情報セキュリティに係るリスク評価結果について  
榎原理事から報告があり、リスク評価判定欄のうち、「法人」の欄について、該当しない箇所は斜線などに変更することとした。  
また、19日に開催した情報セキュリティ研修会と、富山大学で発生したインシデントについて報告があった。
- (5) 研究力強化に向けた研究拠点の在り方に関する懇談会のこれまでの議論について  
事務局から報告があった。

以 上